

香川大学教育学部

# 附属坂出学園だより

第28号

2007.12



ハロウィンパーティーが始まるよ

## 目次

- ・幼稚園では p 2
- ・小学校では p 3
- ・中学校では p 4・5
- ・特別支援学校では p 6
- ・特別支援教室報告 p 7
- ・大学との連携 p 7
- ・PTA活動（松韻会・親和会） p 8・9
- ・坂出学園9～12月のあゆみ p 10

# 小学校体験

～5歳児青組～

11月13日（火）～16日（金）の4日間、5歳児の後期小学校体験が行われました。

小学校の先生方と一緒に、幼稚園で活動を行った前期（6月）とは異なり、青組の子どもたちは、2年東組の教室を借りて、初めての小学校での生活を体験します。ちょっぴり緊張していたり、とても楽しみだったり、張り切っていたり…。どの人も、自分なりに小学校体験の始まりを受け止めているようでした。

## 授業参観

まずは、小学校のお兄さん・お姉さんの授業風景を見せてもらいました。特に小学生が発表をしたり、それにみんなが答えたりする場面になると、発言者の方に目線を移して、真剣な眼差しで見っていたのが印象的でした。どのクラスも、授業中にもかかわらず、快く迎えてくれたのがとてもありがたかったです。後で、「小学校のみんなはすごかった」「上手に筆で字を書いていて、びっくりした」「難しいお勉強をしていた」などと振り返っていた子どもたち。小学生への憧れの気持ちもまた、膨らんだようです。

## 小学校の先生と一緒に

小学校の先生方と一緒に活動することに、子どもたちは大きな期待を膨らませていました。「前に幼稚園に来てくれた先生やな」「初めての先生だけど、お兄ちゃんの先生だから知っているよ」「どんな楽しいこと、するのかなあ」…前期の体験が楽しかったことも、期待が膨らむ理由の一つなのでしょう。『言葉で遊ぼう』『一年生と遊ぼう』『数や形で遊ぼう』『なかよくなろう』『からだをつかって遊ぼう』『粘土を使ってかたちで遊ぼう』など、どの活動でも「おもしろかった」「お勉強をして楽しかった」「もっと続きをしたかった」という声があがりました。先生とのふれ合いも、嬉しかったようです。また「お兄ちゃん、お姉ちゃんが優しく教えてくれたのが嬉しかった」という声も…。温かいかわりを心地よく感じながら、楽しく活動でき、たくさんの学びが、子どもたちの身体や心の中にため込まれたことと思います。



## 初めての給食

給食をいただくことも、今回の体験の大きな楽しみの一つでした。

事前に、何を配るかという当番を決めていたのですが、誰もが一生懸命取り組んでいたのが印象的でした。自分が担当している食器が、全員のトレイの上に置かれているかどうか、確かめて回ったり、待っている人が「〇〇くんのところ、まだパンがないよ」と、当番の人に知らせたり…。指示されなくても自分たちで考えて動いていたのは、頼もしい姿でした。

体験した2回とも、「おいしい!」「おかわりしたい」と、こぼれる笑顔。調理員さんの心遣いもなんとありがたかったことでしょう。「明日も給食がよかったのになあ。でもいいや、小学生になったら食べられるから」と笑顔で話していた人もいました。

新しいことへの挑戦をたくさんすることができた、子どもたちにとって、貴重な4日間の体験。小学校の先生方には、環境整備、活動の準備等、たいへんお世話になり、感謝しています。

休み時間には、誰もが運動場に出て、めいっぱい身体を動かして遊びました。小学校で過ごした4日間の中で、幼稚園の、ゆったりとした時間が流れている生活との違いも、子どもたちは感じているようでした。残り少ない幼稚園生活。今回の体験での気づきや育ちを生かしながら、幼小接続期の保育を充実したものにと考えています。

# 「思考力」をはぐくむ学びの創造

## — 脳神経科学との連携 —

本校では、脳神経科学研究と連携しながら、子どもの「思考力」を育成する授業づくりについて研究を進めています。そして、『思考の仕方に関する手続き的な知識（＝思考様式）を「長期記憶化すること』が大切であること、その際には、以下の4視点を含む教材を用いると効果的であることを見出しました。しかし、研究を進めていく中で、2番目の視点「精緻化」に関して、まだまだ探るべき余地があることを感じ、現在実践を重ねています。

### 【思考様式の長期記憶化に有効な4視点】

- 意欲・情動を喚起すること
- 精緻化（学習したことがらを互いに結び付ける）こと
- 簡略化・焦点化して学習すること
- 繰り返し学習すること



### 【現在の研究の視点】

- ・ どのようなことがらを結び付けると効果的なのか？
- ・ 他の視点と、どのような関係性があるのか？

それでは、ここにその授業の一端をご紹介します。

## 4年 理科「消える？ 固まる？ 水のなぞ」—思考様式と感覚情報、生活情報との精緻化—

第4学年の多くの学習では、「時間が経過する」のように、一方向に変化する要因を関係付ける思考が設定されていますが、本単元の思考は、温度が「高くなる」「低くなる」のように要因の変化が二方向になります。それゆえ、「予想と反対の実験をして確かめる」という思考様式を会得し、反対に変化させた要因についても調べる「対照実験」を行う必要があります。

そこで、本実践では「加湿器や除湿器を用いて水蒸気の量を変えたり、水蒸気に触れさせる物の温度を変えたりして実験を行う場」を設定し、思考様式の長期記憶化を図りました。

この教材は思考様式に2種類の情報を精緻化することができると考えます。1つは「感覚から得た情報」です。本教材で変化させる「湿度」や「温度」の高低差は手触りで明確に感じることができます。数値や言葉による情報に、感覚で得た情報も加えて思考させようと考えました。2つ目は「生活場面の情報」です。湿度を多くする実験や水蒸気に触れる物の温度を変える実験は、お風呂や食事等の生活場面を想起しやすいものです。よって、実験で確かめている関係性を生活場面に当てはめて考えることができます。

「うわっ、熱いなあ。」「すごく冷たいよ。」子供たちは常温の水の入ったペットボトルと熱いお湯や冷たい水の入ったものとの温度の違いを手で感じながら、冷たいペットボトルだけに水滴が付く様子を捉えることができました。また、授業の終盤ではそのような実験を生活場面に当てはめ、氷が入ったお茶のコップには水滴が付くが、あたたかい豚汁の入った器には水滴が付かない理由やお風呂の窓に水滴が付く理由について話し合いました。これらの活動を通じ、水蒸気から水への状態変化と温度との関係を明確に捉えることができました。



なお、本校研究発表会はこれまで毎年5月に行ってききましたが、来年度より1月下旬の開催に変更いたします。次回、研究発表会は平成21年1月下旬を予定しております。

小学生来校（11月2日・5日）

研究開発（シャトル学習）の一環として、附属坂出中学校1・2年生の授業に、小学校6年生が参加し、学習を行いました。具体的には、小学生が、学習したい教科やコースを選択し、中学校の一つの学級に6～7人が入り、それぞれの内容を学びました。小学生の感想には、「中学生と一緒に授業を受けて、『始めはどんなことをするのだろう。』と少しドキドキしていたけど、分かりやすく教えてくれたり、教科書の内容を優しく教えてくれたりしたので、楽しく授業を受けることができました。」といった感想でした。保護者の方も授業参観にこられ、中学生にとっても充実した時間となりました。

教科	学習内容
1 国語	古文の音読と百人一首を楽しもう
2 社会	地図の利用～等高線から断面図を作成しよう～
3 数学	立方体の切断
4 理科	コイン回し～偶然と確率～
5 音楽	合唱・合奏「翼をください」
6 美術	名画の代名詞「モナリザ」の謎を読み解く
7 体育	体づくり運動～リズム縄跳びに挑戦～
8 技・家	技：コースターを作ろう 家：衣服の手入れ「まつり縫い」
9 英語	英語をどれだけ聞き取れるかな？



体育 6年生に飛び方を見本を示す様子 数学 立体の切断面を考えている様子 技・家 コースターを作成している様子

高校生との合同授業

研究開発（シャトル学習）の一環として、昨年度から行われている高校シャトルが、今年も11月15・20日に行われました。附属坂出中学校の3年生が近隣の坂出高校と丸亀高校を訪問し、高校生と一緒に学習するというシステムです。生徒は事前に両校の先生から説明を聞き、希望する教科を選択します。1名から10名程度まで人数にばらつきはありますが、高校という初めての場所で、高校生と同じ内容の学習経験をしました。「最初は緊張したけれど、とても楽しく学ぶことができた。高校の雰囲気味わえてよい経験になった。」「内容は難しかったけれど、おもしろかった。今の勉強をしっかりと高校入試にそなえたいと思った。」など、前向きな感想が多く、高校の授業に刺激を受け、学習への更なる意欲に結びついたようです。



高校の先生に挨拶をする様子

高校生にマンドリンを教わる様子

理科の授業で真剣に学ぶ様子

# 附中元氣村 Nothing is Impossible ～良き伝統の60年～

11月17日(土)空高く透き通った秋晴れのもと、平成19年度文化祭「附中元氣村」が行われました。今年、附属坂出中学校創立60周年記念式典と同日に開催する関係で、式典の練習(学年合唱)と重なり、文化祭の準備をする時間がほとんどありませんでした。しかし、生徒は自分たちの手で文化祭を成功させるために、休み時間や放課後などの限られた時間を精一杯活用し、準備を行ってきました。

当日の午前中は「附中元氣村」、午後からは「創立60周年記念式典」を行いました。本年度のテーマ「Nothing is Impossible～良き伝統の60年～」のもと、ステージや特別教室等の発表空間でそれぞれの個性と能力を十分に発揮させたパフォーマンスと展示を見せることができました。こうして今年も、附坂中の大切な伝統が先輩から後輩へと確実に受けつがれていきました。



【附中元氣村】プログラム	
<b>体育館オープニング企画</b>	
吹奏楽部による演奏	
①ロマネスク ②Love so sweet	
③CHERRY ④飛行の幻想	
<b>体育館ステージ企画</b>	
順	内容
1	心に響け教会の鐘 (生徒)
2	きら★キタ, ラダグズ!! (生徒)
3	SOS団 (生徒)
4	ルパン・ザ・ファイヤー (選択体育)
5	選択英語 (選択英語)
6	@ (生徒)
7	Black Lack (生徒)
<b>教室等展示企画</b>	
文化祭テーマ (3-1)	
文字でいごなう夢の世界 (文芸部)	
必見!ピククリ/サイエンスショー (理科部)	
マジシャンズV (生徒)	
手作りクッキーはいかが? (家庭科部)	
家庭科作品展示 (家庭科)	
Cheaperz (生徒)	
和(なごみ) (茶道部)	
flower time (生花部)	
技術科作品展示 (技術科)	
1年団展示&掲示 (1年団)	
2年団展示&掲示 (2年団)	
3年団展示&掲示 (3年団)	

## 創立60周年記念式典



- |                          |        |
|--------------------------|--------|
| 1 記念式典 式次第               |        |
| 開式の辞                     | 来賓あいさつ |
| 君が代                      | 祝電披露   |
| 学校長あいさつ                  | 目録贈呈   |
| 学長(学部長)あいさつ              | 校歌斉唱   |
| 同窓会会長あいさつ                | 開式の辞   |
| 2 学年合唱                   |        |
| 3 四国電力取締役社長<br>常磐 百樹様 講演 |        |

11月17日(土)穏やかな秋の日差しが体育館を包む中、多くのご来賓や同窓生のご臨席のもと、厳粛にも温かい心あふれる式典が盛大に開催されました。

多くの方々のお力により贈呈された放送設備は、体育館の隅々まで、声や音楽が美しく響くすばらしいもので、職員・生徒一同大変喜んでます。今後大切に使用していきたいと感謝の気持ちが生徒会長より伝えられました。

学年団の合唱は、記念すべきこの日を一緒に迎えた仲間や、多くの方々との最高の思い出として、いつまでも心に残しておきたいとの願いを込め、毎日一生懸命練習に取り組みました。どの学年も本当にすばらしい歌声で、会場全ての人の心に響きました。



1年「明日を夢見て」



2年「ここにしか咲かない花」



3年「走る川」

常磐 百樹様は、「21世紀を担う君たちへ～エネルギーの話、あれこれ～」という演題でお話くださり、講演の内容はご示唆に富むものでした。今後の生活に活かしていきたいと思ひます。



常磐 百樹様のご講演の様子

# 心のきずなを強めたふれあい祭り

附属特別支援学校恒例の「ふれあい祭り」が11月23日に盛大に開催されました。「ふれあい祭り」は、日ごろ温かく見守ってくださっている府中町の方々に深く感謝する祭りでもあります。

「ふれあいイベント第1部」では、小学部の児童たちが府中小学校の4年生と一緒に練習を重ねてきた合奏や歌を仲良く発表。中学部は鳴子を手に、「よさこいボディパーカッション」と題した元気よく軽快な演技を表現。そして高等部はかねの音とともに、雄大で勇ましい獅子舞を体育館いっばいに披露しました。

「ふれあいイベント第2部」では卒業生も交えて、カラオケ大会で愉快的ひとときを過ごしたり、地域の方々に応援していただきながらゲームや伝承遊びを楽しんだりしました。

会場ではバザーも開かれ、生徒たちが作業学習で制作した陶芸作品、絵織り、たまねぎ染め、野菜や花の苗などの販売活動も展開することができました。親和会や卒業生の親の会、地域の方々も食品バザーに参加して下さったり、ボランティアで茶道を教えてくださいながらお茶会を催して下さったりと、たくさんの方の優しさに包まれて、社会参加の場を体験するよい機会になりました。

約400名の方々が来校され、和気あいあいとした雰囲気の中、人と人とのふれあいのきずなの大切さを再認識した一日でした。



バザーの様子



小学部の府中小との交流演芸会



高等部のみんなそろって歌合戦



中学部のよさこいボディパーカッション



## 特別支援教室「すばる」が、第38回博報賞を受賞。



平成19年11月2日、東京にて、財団法人博報児童教育振興会より、「すばる」教室の実践に対して、第38回博報賞特別支援教育部門（団体の部）において受賞しました。授賞式には、本教室を代表して室長の繪内利啓教授が参列いたしました。

博報賞は、すぐれた業績や教育に対する貢献を顕彰し、教育活動を助成することを目的に、1970年に設けられたものです。

「すばる」教室が、今回、このような意義ある賞を受賞したことは、大

学学部と附属坂出学園の幼・小・中・特別支援学校が協働して、発達障害のある子どもたちや保護者・担任に対して、指導・支援を積み重ねてきた成果が、認められたものと考え、非常にうれしく思っております。

今後、「すばる」教室スタッフ一同は、附属坂出学園の支援の基に、いっそう指導・支援に励み、受賞者として恥ずかしくない実践を積み重ねる所存です。



### 大学との連携

(2007. 10.24)

研究開発（シャトル学習）の一環として、附属坂出中学校で、3年生を対象にした香川大学の先生による出前授業がありました。一井学長先生（農学部）をはじめ、医学部、経済学部、法学部、工学部から6人の先生方にお越しいただき、大学での

	学部	名前	テーマ
1	医学部	鎌野 寛 先生	「免疫と感染症」
2	医学部	板野俊文 先生	「頭はよくすることができるか」
3	経済学部	大賀陸夫 先生	「参議院選挙とこれからの日本」
4	工学部	山本院生（能見研究室）	「世界初小型人工衛星STARS」
5	農学部	一井眞比古 学長	「学長バイオテクノロジーを語る」
6	法学部	山田健吾 先生	「法は瀬戸内海を守れるか」

難しい専門的な内容を、中学3年生にも分かりやすい言葉で50分間授業をしていただきました。生徒は事前に本校の山神校長先生より各コースの内容について説明を聞き、希望をとり、1コース約20名ずつで授業を受けました。保護者の方も参観され、「テーマを検証するために、数種の法律を調べて結論にアプローチしていきました。派手さはありませんが、講師の方の誠実な人柄と相まって、静かな知的興奮が味わえる授業でした。」という感想もいただきました。



山田先生(法)の地図を用いての説明



一井学長(農)がDNAの取り出し方を説明

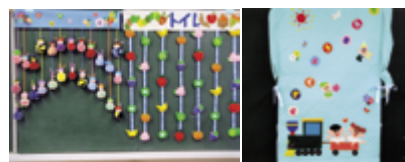


板野先生(医)の記憶についての説明

## 幼稚園より

## ウェンディーの会

今年度は、おたよりバサミを入れるウォールポケットと、各クラスのトイレの入り口ののれんを製作しました。11月5日、11月12日の2日間にわたり、クラスごとにデザインを考えて、フェルトや毛糸やリボンを使って作っていきました。それぞれのクラスごとの個性がでていて、どれもとてもカラフルでかわいい素敵なものが出来上がりました。毎日幼稚園で使うものなので、とても丁寧にしっかりと作りました。完成後、皆さんにお披露目。お母さん方は、皆さんとても満足気でした。



## 土曜メンテナンス

10月20日、こちらはお父さん方が幼稚園内のメンテナンスを行いました。今回は、砂場の枠づくりやマラソンコースの整地、スロープ作り、樹木の剪定などです。21名のお父さんが参加して下さり和やかに作業が進められていきました。肌寒い日でしたが、作業後の焼き芋もおいしくいただき、充実した一日になりました。



## ソフトボール大会で優勝

11月8日、林田運動公園で市PTAソフトボール大会が行われました。とても、風が強く寒い日で試合は大変でしたが、お父さん・お母さん方ががんばりを見せ、附属幼稚園チームが優勝しました。



## 小学校より

## 学級PTA

10月17日、2学期の学級PTAが開かれました。担任の先生から、運動会練習時のエピソードをお聞きして、運動会当日とても頑張っていた子どもたちの様子と輝いていた顔を思い出し、胸が熱くなりました。

また、「おこづかいはどうしてるの?」「ゲームばかりしている」「視力の低下を防ぐには」など、クラスごとに様々な意見交換が行われたようです。校区のない我が校では、保護者が顔を合わせる機会があまりありません。学級PTAを利用して日頃の悩みを相談してみませんか? 同じ年の子どもを持つ保護者同士、共通の悩みかもしれませんよ。



次会は2月開催予定です。

## 一斉パトロール

11月15日、坂出市PTA連絡協議会の「下校時一斉パトロール」がありました。



学校安全委員会のメンバーが子どもたちと一緒に下校しながら、学校周辺や自宅近辺をパトロールしました。

子どもたちは、交通ルールを守って下校していました。しかし、不審者は、いつ・どこに現れるかわかりません。7月に行われた「不審者想定避難訓練」の時に教えてもらった、「知らない人に話し掛けられたときの5つの約束」をお子さんと一緒に確認してみてください。



## 中学校より.....

9月22日に、3年生にとって最後の運動会が晴天のもと行われました。やり遂げた後、涙する生徒たちの姿に保護者も胸が熱くなる1日でした。

10月1日～14日に、2年生が五色台集団宿泊に出かけました。一歩ずつ大人に近づいていく我が子の成長した姿に目頭が熱くなりました。

11月15日には、PTAの一斉下校パトロールも行われました。



11月17日には、創立60周年記念式典、中学校文化祭（元気村）が開催されました。その夕方には、附属坂出中学校同窓会にもぎやかに行われ、久しぶりの集まりで旧交を温めることができました。

翌18日には、坂出市PTAソフトボール大会がありました。今年は2チームの保護者の参加があり、おおいに盛り上がりました。



## 親和会だより.....

### PTA施設見学

親和会会長 竹田 智香

9月11日に、毎年恒例となっている施設見学に行きました。この行事は、「親和会」だけでなく「卒業生親の会」の方も一緒に参加していただき、子どもの現在や卒業後のことをいろいろと話し合える場になっています。

今年は香川町の社会福祉法人「サマリア浅野」と庵治町の知的障害者デイサービス「あじの里海」を見学しました。両施設とも丁寧に説明していただき、私たちは聞き入ってしまいました。

ところで、以前この施設見学は他県の様子を知りたいということで、県外に出かけていました。

最近になって、保護者の方から「県内の身近な施設を見学することも良いのではないか。」という意見が

あり、昨年度からは、保護者の皆様からのアンケートをもとに見学先を決めるようになりました。このシステムにしてから施設見学に関心をもたれる保護者が多くなり、とてもうれしく思っています。

卒業が目前の高等部の保護者はもちろん小・中学部の保護者も子どもの将来を早くから考えていく良い機会になっています。



－サマリア浅野にて－



－施設の説明をうける－

運動会(9月22日)

坂出学園の秋季大運動会が9月22日に行われました。プログラムの最後に、生徒の創作によるマスゲームが行われました。今年は「魂～soul～」のテーマのもと、I場：S～straight～(1～3年男子)、II場：O～original～(1～3年女子)、III場：U～union～(3年)、IV場：L～locus～(全員)の4部構成でした。最後のピラミッドが完成したときには、大きな歓声があがり、全員で感動を伝え合うことができました。



フィールドワーク(10月31日)

総合学習「まんてがん」のフィールドワークが10月31日に行われました。1年生が3コース、2、3年生は6コースの全部で9コースあります。1年生の1コース「地産地消を考えよう～産直市場マップ作り～」では坂出みかん共同選果場に行って、みかんの収穫から選果、販売まで実際の場所で学習を行いました。また、2、3年生のDコース「わくわくWORK」では、職場体験を行いました。幼稚園、うどん屋、病院、建設会社、自衛隊、コンビニなどいろいろな所で、有意義な体験をさせていただきました。



中学校

本校ブログの開設

本校児童の学習や生活の様子を保護者の皆様や地域の方々に広く知っていただくために、11月7日(水)より、本校のブログを開設しました。「お話しランチボックス(保護者による読み聞かせ)」「研究授業」「耐震工事」「幼稚園児の小学校体験入学」「クラブ活動」等、盛りだくさんの内容でみなさまをお待ちしています。本校ホームページからアクセスしていただくか、本校ブログのURL (<http://blog.ed.kagawa-u.ac.jp/sakasho/>)を直接ご入力後、ご覧ください。



耐震工事

11/8(木)から耐震工事が始まりました。主な工事箇所は体育館、南・北校舎で、来年2月末には終わる予定です。南校舎の工事は冬休みに一括して行うので、子どもたちの授業には差し支えありません。工事に伴い、児童の登下校が西正門に限られたり、職員駐車場として使用するために運動場がせまくなったりしてご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力の程よろしく願いたします(写真は家庭科室)。



小学校

特別支援学校

思い出いっぱい 修学旅行

〔中学部〕10/17(水)～10/19(金) 北九州方面に修学旅行に行きました。大宰府天満宮では高等部合格祈願の絵馬を書き、マリンパレスうみたまごでは、セイウチのごんた君のショーを楽しみました。城島後楽園遊園地ではジェットコースターに絶叫し、アフリカンサファリでたくさんの動物と触れ合いました。温泉や食事もすばらしく、とても思い出に残る旅行になりました。



〔高等部〕10/10(水)～10/12(金) 東京・横浜方面に修学旅行に行きました。1日目は、JAL機体整備工場や夜の東京タワー、そして2日目は、とても楽しみにしていた東京ディズニーシーに行き、ショーや乗り物等で一日を満喫することができました。お土産もたくさん買いました。3日目は、品川水族館でアシカショーを見て、横浜中華街にも立ち寄り、おなかいっぱい中華料理をいただきました。あつという間の3日間でした。



幼稚園

秋の遠足「国営讃岐まんのう公園」

11月2日、秋晴れのいい天気にも恵まれた遠足。子どもたちは、すごく広い芝生広場でかけっこをしたり大きなボールを転がしたりと、思い切り身体を動かして遊びました。赤組・青組はその後、ふわふわドームやありじごくなど遊具がある広場で過ごし、秋の自然を満喫しました。



「楽しいおやつの日」お話し

10月31日、赤組の保護者と子どもを対象に、食育に関するお話しを行いました(県教育委員会の派遣事業)。専門家である栄養士の方から、「おやつは4番目の食事」「飲み物に含まれる砂糖の量」「手作りおやつで不足しがちな栄養素の補給を!」といったことを、子どもたちにも分かりやすくお話しいただきました。家庭での食生活を振り返るきっかけになったことと思います。



編集後記

9～12月は各校園で様々な行事がありました。教育実習、坂出学園運動会、教育文化祭、附属坂出中学校創立60周年記念式典、附属特別支援学校ふれあい祭り等…。忙しい中にも子どもたちの活躍する姿があり、個々の成長を感じることができたように思います。

小学校では耐震工事が11月から始まりました。児童は限られた環境の中で生活を余儀なくされていますが、次年度、改修された校舎で過ごせることが、楽しみといったところです。

12月も残すところ僅かとなりましたが、今年も保護者の皆様ならびに関係機関の皆様には、色々ご支援・ご協力をいただきました。本当に有難うございました。

発行年月日：2007年12月20日

発行事務局：附属坂出小学校内

塩田 知子 (附属幼稚園)

横山 新二 森山 敬三 (附属坂出小学校)

環 修 木谷 直充 (附属坂出中学校)

岩本 豊 樫尾由美子 (附属特別支援学校)